

各事例の詳細について

平成22年5月13日
農林水産省

番号	確認場所	経営状態	飼育頭数	位置	経過等	検査結果 陽性 (13日判明)
77	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	49頭 (繁殖牛25頭 子牛24頭)	57例目の 農場から 北東約600m	・5月11日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛1頭の流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、1頭にびらん等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所へ送付	1頭
78	児湯郡川南町	酪農・肉用牛複合	107頭 (乳用牛77頭 肉用牛30頭)	50例目の 農場から 南約300m	・5月12日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛2頭の流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、2頭にびらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	2頭
79	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	9頭 (母牛5頭 子牛4頭)	42例目の 農場から 南約500m	・5月12日、獣医師から宮崎県に対し、飼養牛1頭に流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、1頭に口腔内の潰瘍・流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	1頭
80	児湯郡川南町	養豚	180頭 (肥育豚180頭)	44例目の 農場から 北西約400m	・5月12日、農場関係者から宮崎県に対し、飼養豚4頭に歩様の異常等を確認したと届出 ・同日立ち入り、5頭に蹄のびらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	3頭
81	児湯郡川南町	養豚	205頭 (母豚22頭 種雄豚3頭 子豚180頭)	31例目の 農場から 北約1km	・5月12日、開業獣医師から宮崎県に対し、飼養豚2頭に水疱等を確認したと届出 ・同日立ち入り、2頭に水疱・びらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	2頭
82	児湯郡川南町	養豚	740頭 (母豚59頭 種雄豚6頭 子豚388頭 育成豚4頭 肥育豚283頭)	37例目の 農場から 北約300m	・5月12日、開業獣医師から宮崎県に対し、飼養豚1頭に水疱等を確認したと届出 ・同日立ち入り、1頭に水疱、びらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	1頭
83	えびの市	肉用牛繁殖	46頭 (繁殖牛24頭 育成牛3頭 子牛19頭)	22例目の 農場から 北約1km	・5月12日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛1頭に流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、3頭に流涎、びらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	3頭
84	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	36頭 (繁殖牛19頭 子牛17頭)	52例目の 農場から 南西約800m	・5月12日、獣医師から宮崎県に対し、飼養牛1頭にびらん等を確認したと届出 ・同日立ち入り、潰瘍、水疱等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	2頭
85	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	76頭 (繁殖牛44頭 育成牛4頭 子牛28頭)	49例目の 農場から 西約350m	・5月12日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛2頭に水疱等を確認したと届出 ・同日立ち入り、流涎、びらん等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所へ送付	2頭
86	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	9頭 (繁殖牛5頭 育成牛1頭 子牛3頭)	44例目の 農場から 南東約200m	・5月12日、獣医師から宮崎県に対し、飼養牛1頭に食欲低下等を確認したと届出 ・同日立ち入り、びらん等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所へ送付	1頭